

みなさん、こんにちは。市原中央クラブ所属、米山奨学生のアイリーンと申します。本日は市原クラブで卓話をさせる機会をいただき、誠にありがとうございます。

本日の卓話では、まず私の出身地である台湾と、これまでの経歴をご紹介します。次は日本を留学先に選んだ理由、そして大学での学び、将来の目標、最後はロータリーの活動についてお話したいと思います。

私は台北出身です。台北は台湾の首都で、山に囲まれた盆地にあり、約 250 万人が暮らしています。台北 101 は台湾一番高いビルで、台北市の中心にあります。展望台では台北市内の景色を楽しむことができます。

北部

台北以外の北部地域には、基隆、桃園、新竹などの都市もあります。また、皆さんがよくご存知の「九份」も北部にあります。九份の名物といえば「芋圓」です。芋圓は台湾の伝統的なスイーツで、紫色のタロイモ団子と黄色のさつまいも団子でできています。豆花やかき氷と一緒に食べることが多いです。

そのほか、台北の「故宮博物院」や、新北市にある「野柳地質公園」も人気の観光スポットです。故宮博物院は、中国の貴重な文物が多数展示されています。中でも特に有名なのは、翡翠を白菜の形に彫刻した翠玉白菜や、外観が豚の角煮そっくりな「肉形石」は人気があります。野柳地質公園のランドマークはクイーンズヘッドです。数十年の自然風化の結果、その姿がイギリスのエリザベス女王の頭に似ていたことからこの名が付けられました。

中部

台湾の中で最も天候に恵まれる地域は中部で、海側は晴れの日が多く、山側には山が連なり、台湾紅茶の名産地としても知られています。人気がある観光地として、「日月潭」があり、台湾で唯一海に面していない南投にあります。時間帯によって異なる景色を楽しむことができます。そして、「泳渡大会」という有名な国際イベントも行われています。このイベントには毎年9月、世界各国から一万人以上の参加者が集まり、美しい日月潭を横断し、約3キロの距離を泳ぎます。

また、日月潭の特産品の一つは「蜜香紅茶」です。台湾紅茶の代表として、

高い人気を誇っています。この紅茶の特徴は、はちみつのような甘い香りがあります。実はそれは、茶葉がまだ若い時に「ウンカ」という虫に噛まれることで生まれる香りです。ウンカの唾液と茶葉の化学反応によって、自然な甘い香りが引き出されます。他の虫ではこの効果は出ないため、蜜香紅茶の製造においてとても重要な役割を果たしています。

南部

台湾南部には、かつて首都だった「台南」や南部最大の都市「高雄」があります。台南は、伝統的な街並みが残る歴史ある都市として知られていて、「安平古堡」は、その代表的な歴史建築の一つです。

もともとは17世紀にオランダ人によって建てられた「ゼーランディア城」で、オランダ統治時代の台湾の中心地であり、貿易の拠点でした。その後、鄭成功がオランダ人を駆逐し、この地を「安平」と改名したことから、「安平古堡」として現在に至ります。昔は貿易や軍事の中心として使われていて、今は観光地になっています。台湾の歴史を感じられる人気スポットです。

また、台南はB級グルメを味わうことができます。ここでは代表的なグルメを簡単にご紹介します。まず「エビ飯」は、かつおとエビの出汁で炊いたご飯の上に、エビをのせた料理です。「タンツーマン」は、中華麺にそぼろ肉、エビ、パクチーなどをトッピングした、汁入りの麺料理です。台湾語の「飽きずに美味しく食べられる」という考えから、少なめの量で提供されるのが特徴で、多くの場合、お茶碗サイズの器に入っています。「肉入り粽」は、もち米の中に豚肉、塩漬け卵黄、しいたけ、栗などの具材を詰めて、竹の葉で包んで蒸した料理です。そして「サバヒーお粥」は、サバヒーの旨味がしっかり染み込んだ、あっさりとした味わいのお粥です。これらのほかにも、まだまだたくさんのおいしいグルメがあります。みなさんも台南に行く機会があれば、ぜひいろいろな料理を味わってみてください。

東部

台湾東部は太平洋に面しており、花蓮から台東方面には原住民族が住んでいます。代表する観光地としては、「太魯閣溪谷」があります。「タロコ」の地名は原住民の言葉で「連なる山の峰」を指します。太魯閣溪谷は、立霧溪が大理石を侵食して形成された大溪谷です。

必見スポットの一つは、清水断崖です。最も高い部分では海面から約1,000メートルの高さに達し、ほぼ垂直に切り立った岩壁が太平洋に向かってそび

え立っています。そして燕子口です。ここには小さな穴が多く見られます。これは川の激流ではじかれた石がぶつかってできたものです。名前の通り、春から夏にかけて、多くのツバメがやってきます。タロコの景色は、台湾の自然の壮大さと美しさを体感できる特別な場所です。

経歴

そして、私の今までの経歴をご紹介します。私は台湾で、高校3年と大学2年が一体になった5年制の専門学校に通っていました。その後、日本の経営コンサルティング会社と提携している会計事務所で1年間働き、台湾に進出している「一蘭ラーメン」なども事務所のお客さんでした。

その後、新潟大学に1年間交換留学し、人生で初めて知り合いのいない環境で生活しました。当時は日本語が全然できず英語ばかり使っていましたから、逆に英語がとても上達しました。でもコロナで授業がオンラインになり、イベントも中止になったのは残念でした。台湾に帰国した後、再び会計事務所で働きましたが、さらに成長したいと思い、また日本に来ました。関西大学の別科、つまり大学附属の日本語学校で1年間日本語を学び、現在は千葉商科大学商経学部の3年生です。

日本を留学先を選んだ理由

どうして日本を留学先にしたかという、台湾では、日本といえば「おしゃれ」「製品の品質が良い」というイメージがあります。日系レストランのブランドも多く台湾に進出していて、私も小さい頃からよく日本料理を食べ、日本のアニメを見て、日本文化に親しみながら育ちました。そのため、日本への憧れを強く持つようになりました。

実際に日本を旅行したときは、本当にきれいな国だと感じました。街中はもちろん、少し離れた公園のトイレまで驚くほど清潔で感動しました。また、日本は晴れる日が多く、空が青くて、それを見るだけで気分が明るくなります。さらに、台湾より乾燥しているので、アレルギー体質の私にとっては体も楽で、とても快適に過ごせました。このように、心も体も心地よく過ごせる環境だったことから、「ここで長く住んでみたい」と思い、日本への留学を決めました。

大学での学び

大学で受けた授業の中で、特に興味を持ったのは管理会計という科目で、日常生活にすぐ応用できる点が面白いと感じました。例えば、ハンバーガーショップがセットメニューを売るのは、ハンバーガーの原価は高く、ポテトや

ドリンクは安いからです。お客さんはお得に感じますが、実際はお店の利益が増えます。これを知ってから、レストランで「原価が高そうな料理」を見つけると、ついそれを注文してしまいますね。

他にも、今まで知らなかったマーケティング戦略があります。例えば、新しくオープンしたお店が、わざとお客さんを外で並ばせて、注目を集める戦略です。今では行列（ぎょうれつ）を見ても、まず空席があるか確認し、待ち時間を見極めるようになりました。

将来の目標

将来には、国際的に通用する資格を取ろうと考え、今はアメリカ会計士資格の取得を目指しています。日本で働く場合も、台湾に帰る場合も使えるので、将来の選択肢が広がると思っています。そして自分で起業し、会計のオンライン講座を作ることが夢です。私自身は、日本語も会計もオンライン講座で学び、多くの助けをもらいましたので、今度は私が誰かの役に立ちたいと思っています。

ロータリーとの交流活動

今年の4月に奨学生になってから、多くの活動に参加しました。その中で最も印象に残っているのは、千葉公園でのピクニックです。奨学生やロータリアンの皆さんとゲームを楽しみ、私はジャンケンで勝って大きく甘いスイカをいただきました。台湾では食後にフルーツを食べる習慣がありますが、日本に来てからはあまりできません。久しぶりに「毎日食後にフルーツを食べる幸せな時間」をまた味わうことができ、とても満足でした。

それから、私は市原クラブ所属ではありませんが、同じ大学の孫さんのおかげで、市原クラブの平野さん、げんさん、上野さんにも大変お世話になりました。例会に誘っていただいたり、研修会場まで送っていただいたり、本当に感謝しています。

私はただの一人の留学生ですが、ロータリアンの皆さんは奨学金の支援だけでなく、時間を割いて交流の機会もくださり、そして今日もこうして私の卓話を聞いてくださってありがとうございます。

みなさんまだ眠っていないことを願って、これからもどうぞよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。